12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル（企画担当）	・8月の販売室数が前年比3%減少なのに対し、8月末時点での11月の予約室数は前年比22%増加となっている。
	○	一般小売店〔土産〕（営業部長）	・観光客数の増加が期待できる。
	○	百貨店（経営担当）	・今後は物産展など主力の催事企画を開催するため、来客数の増加が見込める。
	○	スーパー（店舗管理）	・収益体制の見直し計画が順調に進んでいる。12月の最低賃金の改定に向けたコスト削減も順調に進んでいる。また、大型レジャー施設開業による需要の喚起も微増ではあるが見受けられる。
	○	コンビニ（経営者）	・近隣の買物客が増えており、特に夕方は弁当や総菜の売上が良くなっている。
	○	コンビニ（店長）	・近隣住民を含め県内の来客数は横ばいだが、県外観光客が増加している。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・陶器は秋冬も手に取られやすい。
	○	その他専門店〔書籍〕（部長）	・大型レジャー施設の開業などで沖縄に注目が集まっている。また、大阪・関西万博が10月に閉幕することから、それ以降は更に沖縄への観光需要が高まるとみている。
	○	一般レストラン（代表者）	・観光客と地元客の利用頻度の増加が期待できる。
	○	通信会社（サービス担当）	・秋はスマートフォン等の新機種発売や年末商戦に向けたプロモーションで需要が高まることを見込んでいる。
	○	観光名所（職員）	・予約数が増えている。
	○	観光名所（職員）	・インバウンドが増加傾向にあるため、単価の高い商品が売れ、全体的に客単価が上がるとみている。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は前年を上回って推移している。特に個人利用が伸びており、トレンドとなっていることから今後の需要も期待できる。
	○	住宅販売会社（役員）	・北部の大型レジャー施設の開業もあり、県外からの移住者や投資などが期待される。
	□	商店街（代表者）	・街中の景気は、飲食業が多く、物販が厳しい状況が長い間続いている。そのため、2～3か月では業種は変わらないとみている。また、厳しい状況であるとの声が多く聞かれる。
	□	一般小売店〔酒〕（店長）	・物価高に対する政府の具体的な政策がみられない。
	□	スーパー（企画担当）	・今後2～3か月の景気は、政府による電気・ガス料金の補助が継続される一方で、食料品の値上げが続く見込みである。景気動向は不透明な状況が続くとみられる。
	□	コンビニ（店長）	・現在の販売量、来客数は良くなっているが、2～3か月先まで右肩上がりになるのは見込めないため、現状と変わらないとみている。
	□	コンビニ（店長）	・8月は来客数が日々増加しているが、10月前半は祭りの影響により人の動きが活発になることから、集中した集客が見込める。
	□	衣料品専門店（経営者）	・例年どおり、8月は中途半端な時期であり、季節物の入替えを期待したが、思うようには客は増えていない。まだ景気は悪い状態である。
□	衣料品専門店（経営者）	・全体的な物価高や円安の問題が改善されるなど、先への明るい見通しが立たないと、景気は良くなるとみている。	
□	家電量販店（営業担当）	・沖縄県の省エネ家電キャンペーンが2025年1月まで続いたため、エアコンや冷蔵庫の反動減が続くとみている。	
□	乗用車販売店（経理担当）	・景気の先行きを判断する大きな要因が見当たらない。	
□	観光型ホテル（総支配人）	・夏季休暇シーズンを終え、大型レジャー施設需要が一旦落ち着くことに加え、価格上昇傾向が継続しており消費マインドは戻らないとみている。	
□	旅行代理店（マネージャー）	・物価高や地域の温度差が大きく、簡単に客は増えないとみている。	
□	通信会社（営業担当）	・上向く状況がみられないため、悪くなる可能性の方が高いとみている。	

	□	住宅販売会社（営業担当）	・住宅販売需要は問合せが継続している。
	▲	コンビニ（経営企画担当）	・現在は来客数の減少を売上でカバーできているが、天候が回復しても来客数の減少がおさまらない。このまま客足が弱まっていくことを懸念している。
	▲	その他飲食店〔ファーストフード〕（総務部）	・10～11月は夏季に比べると厳しいが、前年と比較すると良くなると思われる。特に、北部地域は大型レジャー施設の影響がしばらく続く見込みである。
	×	—	—
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	建設業（経営者）	・今月は、公共工事、民間工事とも受注できたことに加え、2か月以内に大型工事の受注も見込んでいます。
	○	輸送業（総務経理担当）	・運賃交渉の成果が出てくるとみている。
	□	食料品製造業（役員）	・2～3か月に大きな変化はなく、観光関連は引き続き好調に推移するとみているが、一般消費者の動きがどうなるか注視している。
	□	窯業土石業（取締役）	・大型公共工事含め受注案件が重複し一時的な繁忙となるが、その後は受注状況から現状維持になるとみている。
	□	輸送業（経営企画室）	・良くなる要因、悪くなる要因がみられない。
	□	通信業（総務）	・変化が想定される事由や傾向はみられない。
	□	広告代理店（営業担当）	・観光が好調に推移するなか、県内企業の売上は伸長している。一方、仕入コストや人件費などの高騰が続いており、販売促進費用の増加は期待できない。
	□	会計事務所（所長）	・物価や為替の影響を各事業者が吸収し事業継続できるかどうかが見通せない。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（審査）	・例年10月頃から年末年始にかけて商業施設や小売業では繁忙期を迎えるため、サービス業や販売、飲食分野における求人需要の増加が期待できる。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・2027年卒向けのインターンシップに参加した場合、早期選考の案内がくるケースもある。学内説明会の依頼も多いため、それに向けて求人があるとみている。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・米国の関税措置により、今後も更に物価が上昇するとみている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・物価高騰はしばらく続くとみている。
	▲	—	—
×	—	—	